

卒業生のキャリア状況に関するアンケート分析

【調査の概要】

1-1 調査目的

本学を卒業した者を対象にアンケート調査を実施し、卒業後の進路についての意識調査を行い、大学教育の効果を明らかにすることを目的とした。

1-2 実施時期

2021年10月26日～2021年11月5日

1-3 調査対象

2018年度、2019年度、2020年度卒業生

1-4 調査項目

- (1) 卒業後の進路について
- (2) 卒業後の進路についての満足度
- (3) 卒業後の進路変化
- (4) 在学中の教育の満足度
- (5) 在学中の学生支援・キャリア支援の満足度
- (6) 在学中の教育が現在の進路に活かされているか
- (7) 在学中の学生支援・キャリア支援が現在の進路に活かされているか
- (8) 今後、本学の教育の中で望まれる育成（3つ選択）
- (9) 今後、本学に望むカリキュラム（3つ選択）

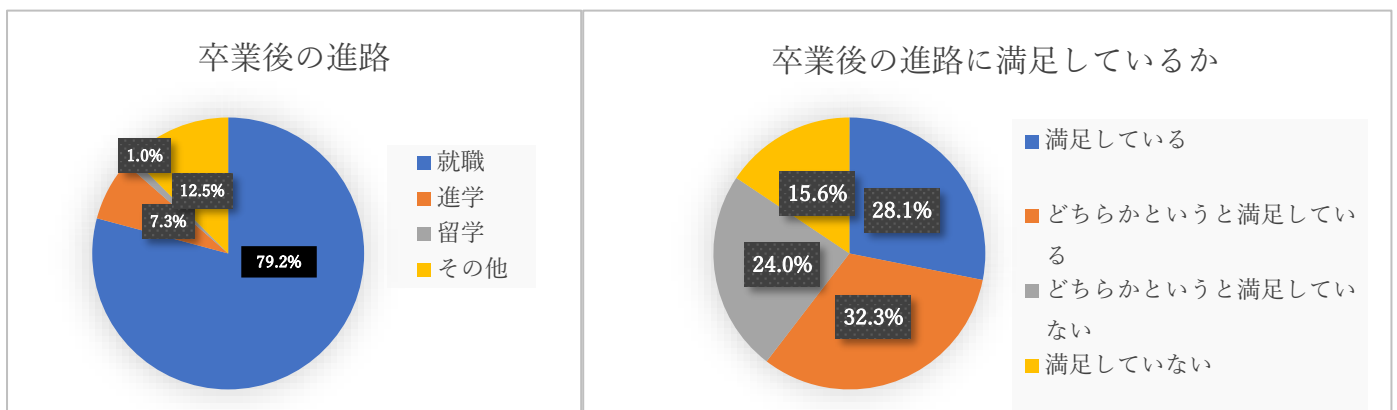
1-5 調査方法

Google フォーム

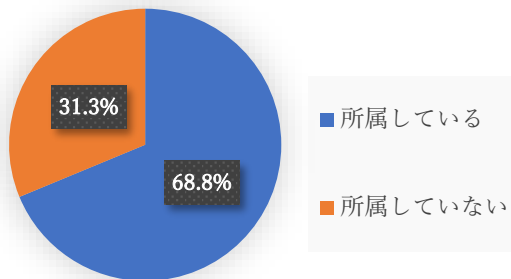
1-6 回収

メールにて447名へアンケートを依頼し96名より回答を得られた。

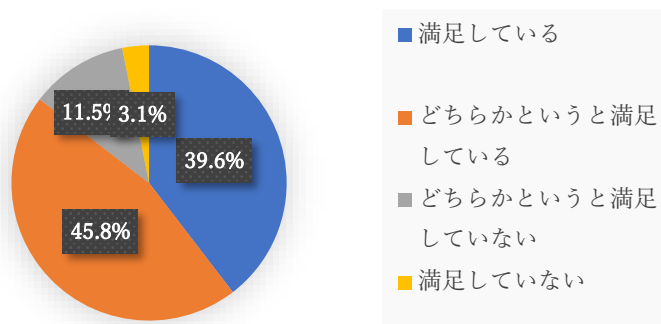
(回収率：21.5%)



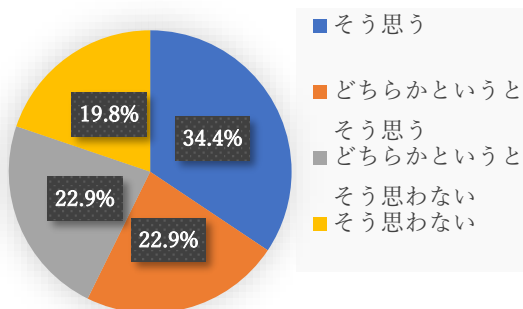
卒業直後に選択した進路（就職先・進学先・留学先）に現在も所属していますか



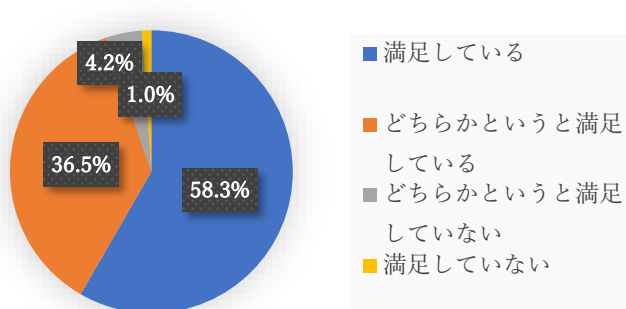
在学中の教育内容に満足していますか



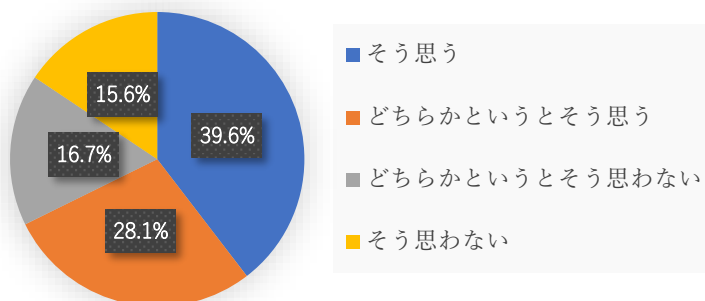
在学中の教育内容は、現在の進路に活かされていると思いますか



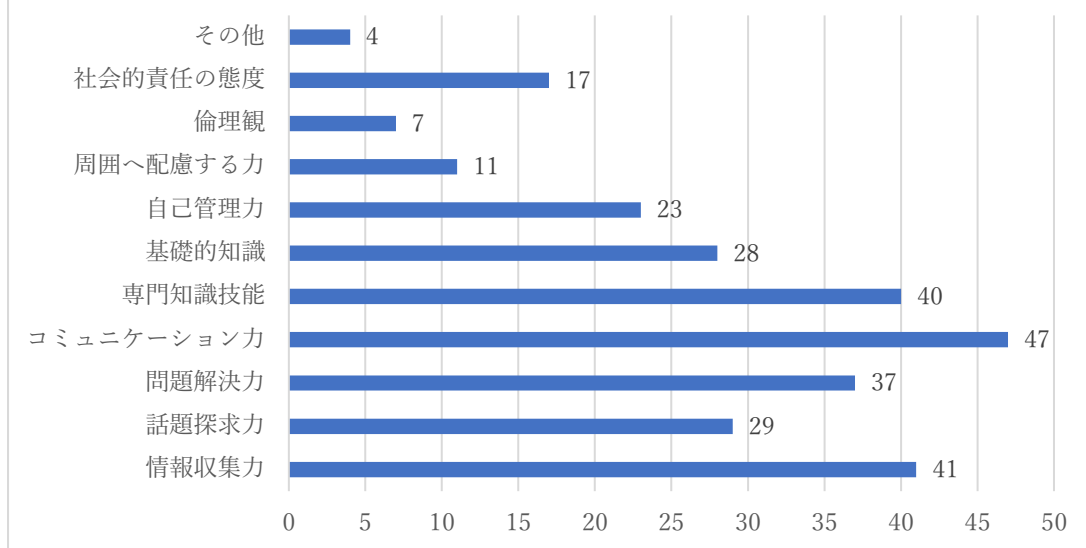
在学中の学生支援・キャリア支援には満足していますか



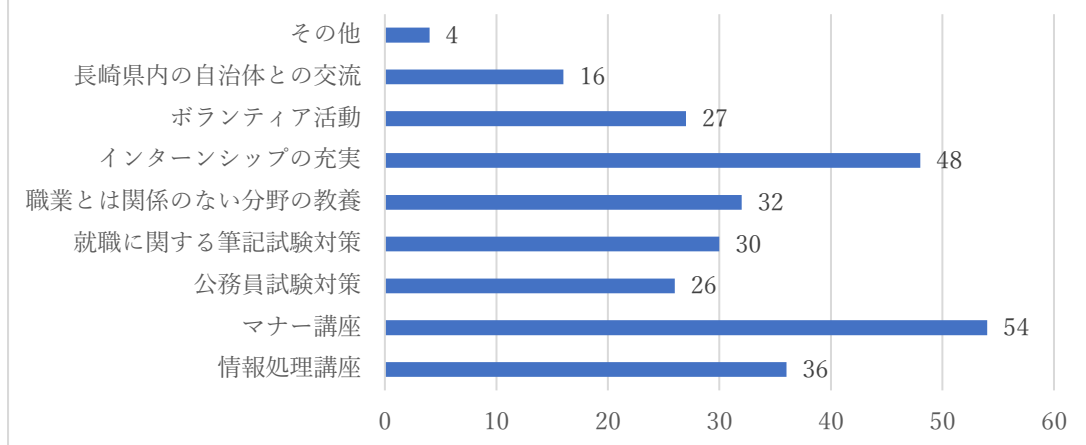
在学中の学生支援・キャリア支援は、現在の進路に活かされていると思いますか



今後本学の教育の中でどのような力の育成を望みますか（3つ選択）



今後本学に望むカリキュラム(3つ選択)



卒業後の進路は満足している学生が60.4%（昨年度66.6%）、離職率31.3%（昨年度25.5%）となった。学生支援・キャリア支援への満足度は94.8%（昨年度91.5%）と高い評価をいただいているものの、より深い学生とのコミュニケーションを通じ進路へのミスマッチを防いでいくことが重要であろう。

また、現在の進路に本学の教育内容を活かしている項目では昨年度80.9%に比べ57.3%と低調な結果になった。必ずしも語学が使える就業先を望んでいると限らないが、昨今のCOVID-19のパンデミックにより航空地上職、ホスピタリティ職、海外業務職などへの就業が厳しくなっており、本学の教育の主体である語学を実務上活かす機会に恵まれていないことの表われと思われる。これまでの授業のほかに「マナー講座」、「インターンシップの充実」、「情報処理講座」が望まれているが「インターンシップの充実」は本年度、すべての希望学生に企業とマッチングさせ、来年度以降も更なる積極的に充実を図っていく。「マナー講座」はホスピタリティ演習の講義外で補足的にセミナーの開催と、「情報処理講座」は就業後、実践出来るカリキュラムとして捉え、今後、導入の検討課題と言えよう。